

学校の教育目標

優しい心を持ち、自ら学び しなやかに生きる児童の育成

めざす児童像

気持ちのよいあいさつができる子ども（交流）
温かさや優しさのある言葉遣いができる子ども（徳）
学ぶ楽しさを味わうことができる子ども（知）
あきらめずに取り組むことができる子ども（体）

ひがしの3A

「あいさつ」
「ありがとう」
「あきらめない」



静まり返った校舎に元気な笑顔が帰ってきました！

校長 嶋岡 和則

37日間の夏休みが終わり、子ども達が学び舎に戻ってきました。この1ヶ月間、連日のように未成年が関係した事故や事件がニュース等で報道されており、その度に心が苦しくなると共に、東野小の子ども達の安全を願っておりました。

真っ黒に日焼けした子、夏休みに作成した大作を嬉しそうに見せてくれた子、私のところに駆け寄って来て夏休みの思い出話をしてくれた子など、子ども達の姿から、充実した夏休みを過ごすことができたことが伺えました。

一方で、もう少し夏休みが欲しかったと足取りが重い子や生活リズムが整わずに眠そうな顔をしていた子、夏休みの課題を終えることができずに不安を抱えながら登校してきた子などがいたことも事実です。一日も早く学校生活に前向きになれるよう、教職員一同、しっかりと寄り添っていきたいと考えます。

保護者の皆様におかれましては、引き続き、本校の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【「第2回学校地域連携運営協議会」の開催について】

○以下の通り、第2回学校地域連携運営協議会を開催いたします。

事前周知の通り、本協議会は、保護者や地域住民の方々の傍聴が可能です。以下 QR コードから事前申込みフォームにてお申込みいただき、協議会当日、直接会場へお越しください。

- 1 日時: 9月12日(木) 10時から
- 2 会場: 本校2階 コミュニティルーム
- 3 概要: (1) 学校より (2) 代表委員会児童との意見交流 (3) 各委員より



【「暑さから身を守る」ためにすべきこと】

○報道にもあるように、今夏の暑さも「異常」でした。暦の上では「秋」となっていますが、秋の訪れを感じられるのはまだまだ先の話となりそうです。この「異常事態」、どれだけ対応策を講じて、最終的に自分の身を守るのは自分自身です。例えば、「外に出る際に帽子を被る」理由を、「決まりだから」と答えるか、「頭を守るため」と答えるかで、帽子を被る行動の意義に大きな違いが生じます。この点をしっかり意識して、子ども達に指導していかなければならないと考えます。ご家庭でも引き続きご協力をお願いします。



【おめでとうございます！】

○以下内容について、見事な成績を収めた子ども達に対し、2学期始業式の中で表彰式を行いましたので、紹介をします。

『第73 回小・中・高校席書大会』

・書星会賞 5年	4年	3年
2年	1年	

※なお、特選・金賞・銀賞の皆さんについては、教室にて担任より賞状を贈呈しました。



『千葉県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール』

・佳作 5年
・佳作 2年

『浦安市口腔保健 ポスター・図画部門』

・市内最優秀 5年		
・入選 5年	5年	
2年	2年	2年



『浦安市口腔保健 健歯部門』

・優秀 6年 内田早紀さん 6年 簾遙花さん

【「防災」について考えよう】

9月は「防災月間」です。

大正12年9月1日に10万人以上の死者、行方不明者を出した「関東大震災」が発生したことを受け、その大惨事を忘れないために、9月1日を「防災の日」と定めています。また、9月は台風の被害が多い時期であることから、「防災月間」としています。

学校でも、9日(月)に地震被害を想定した引き渡し訓練が行われます。また、学級活動の時間等で、子ども達と共に、「防災」について考えています。

「地震大国」である日本で生活している以上、「地震」への備えは日頃から心がけていることだと思いますが、最近では災害級の風水害も多発しています。いざという時、どのような対応がとれるかは、訓練も含めた災害に対する普段の備えがとても重要となってきます。

各地で起きている災害を目の当たりにする度に、大変心が痛みますが、いつ自分の身に降りかかるかわかりません。改めてご家族で話題に挙げ、有事の避難場所や連絡方法、家庭にある備蓄品などの確認をする機会としてほしいと思います。

8月21日(水) 9:00

この日は、うらやす園小中学校連携の日として、富岡中学校区の園小中学校が、会場校である富岡小へ一堂に集まり、研修会が行われました。

これは、言葉の通り、各園・学校間が連携を取りながら、中学校区の子ども達を育成していくことが大きな目的ですが、中学校区の教職員が「顔見知り」となり、親睦を深めることも目的としております。

当日は暑い一日でしたが、その熱量に負けないくらい、モルックを行ったり、専門部会に分かれて話し合いを行ったりと、短い時間でしたが、教職員の熱い思いが感じられ、有意義な時間を過ごすことができました。

ここで話し合われた内容を、今後どれだけ具現化し、子ども達に還元できるか。今後の動きにも注目していきたいと思います。

